

ちばZOO

どうぶつこうえんニュース

2015
春号
No.93



ムフロン

目次

- Director's Eye 1
- 色鮮やかなマンドリル
- フラミンゴの色の秘密 2
- サクラ前線がやってくる
- 特集 さようなら「家畜の原種ゾーン」 3, 4
- GO!GO!ボランティア!! 5
- 来園者の声
- イベントカレンダー 6
- 森由民の「おすすめ千葉ZOO」
- お知らせ 7



Director's Eye



伝えるということ



野生動物の情報は意外と知られていないだけでなく、誤解に満ちあふれている。動物園は都市の中にあって都市民に伝えるのが重要な役割のひとつなので、しっかりとやっていきたいと思っている。伝える方法はたくさんあって、文字情報が一番多くの人に伝えやすいのだが、なかなか読んで理解してもらうのが難しい。できることなら、マンツーマンで話ができるといい。ところがそれはそれで多くの人に伝えることができにくい。結局、あれこれとやっていくしかない、というのが今のところの私の結論である。そのなかに口



コミという方法があって、意外に効果的である。動物のことは動物園から直接に伝えるのも重要だが、それ以外のルートを開発してみるのもいいのではないかと考えている。



仲間から仲間へ、例えばママ友同士とか教員仲間とか、地域カフェなども最近注目されているようである。去年動物公園に赴任して最初に教員向けの研修を行ってみた。参加者は少なかったが、反応はまあまあよかった。今年からは、さらに新たなマーケットを開発してみよう、というわけで、春から動物園カフェのような母親教室を月1回程度実施しようと企画中である。



(園長 石田 戔(おさむ))

色鮮やかなマンドリル ~見かけによらず~



モンキーゾーンひかくしゃのサル比較舎でひとときわ目を引くのがマンドリルのオス、ヨタロウ。一緒に暮らしているメスほうふつたちよりもふた回りは大きい体に、歌舞伎の隈取りほうふつを彷彿とさせるような、鮮やかな赤と青の大きな顔、お尻は赤・紫・青と見事なグラデーションです。顔やお尻のカラフルな色はオトナオスの特徴で、メスやコドモは地味な色をしています。

体も大きく、見た目も派手なヨタロウですが、実はとても繊細です。大きな音や声、環境変化などに影響を受けやすく、かなり気を遣います。人は見かけによらないと言いますが、マンドリルも見かけによりません。

そんなヨタロウですが、ゆったりと寛いでいるときに見られる様子があります。大きな顔を切り株などの上に置いて、居眠り。やっぱり重たいんでしょうかね。春になり暖かくなれば、きっとそんなヨタロウをご覧いただける機会も増えると思います。(飼育第一班 加藤 洋子)

フラミンゴの色の秘密

あざやかなピンク色のフラミンゴ。集団でいる美しさは目を見張るものがありますよね。あのきれいな色はどこからきているのでしょうか。実はフラミンゴの食べる餌にその秘密があるんです。フラミンゴはアルカリ塩や炭酸塩に富む湖に生息しており、そこに発生する藻類やプランクトン、甲殻類などを主なエサとしています。これらの餌の中にはカンタキサンチンという赤い色の色素が含まれており、それを摂取することであのあざやかな色となるのです。ですからフラミンゴは孵化して間もないころは、ピンク色ではなく、灰色がかった白色をしています。フラミンゴの親はオスもメスも、ヒナにフラミンゴミルクと呼ばれる分泌物を口移しで与えます。このミルクはカンタキサンチンを豊富に含むので、真っ赤な色をしています。親の子育てはとてもかいがいしく、自らの色が薄くなってしまふほどです。しかしヒナはこのミルクによってすぐにピンク色に



なるわけではなく、3年から4年くらいかけて徐々に親の色になっていきます。

動物公園ではこの赤い色を保つため、カンタキサンチンを含むフラミンゴペレットと呼ばれる専用の飼料と、オキアミ(エビに似た甲殻類の仲間)を与えています。

(飼育第一班 伊藤 泰志)

サクラ前線がやってくる



ギョイコウ(御衣黄)

園内には、植栽されたサクラが約1100本程あります。2月から5月上旬まで、様々なサクラの開花が楽しめます。正門

からの坂道には、サトザクラの一種で、淡紅色で八重咲の「フゲンゾウ」が観られます。坂を登りきると、右側に「シダレザクラ」が目に入ります。エドヒガンの枝垂れタイプです。また、西門から上がってくると、レッサーパンダ舎前で早咲きの「カワヅザクラ」を観ることができます。静岡の河津町で発見されたのでカワヅ(河津)の地名が付いたようです。そばのトータルポール脇にも早咲きの、半開で下垂した花をつける「カンヒザクラ」が

あります。さらに、レストラン前広場付近では、「ソメイヨシノ」を、その先の鳥類・水系ゾーンの芝生広場では、「フゲンゾウ」を観ることができます。また、北門から上がってきて家畜の原種ゾーンの芝生広場に行くと、花の色が淡緑色で、中心に紅色の条線があるサトザクラの一種の「ギョイコウ」が、ムフロン放飼場前では、「オオカンザクラ」や「ヤエベニシダレ」が観られます。その他、「オオシマザクラ」、「ヤマザクラ」、「ウワミズザクラ」なども観ることができます。「ソメイヨシノ」は、開花して1週間で満開に、10日を過ぎると葉桜になります。サクラ前線に注意を！ (企画広報班 齋藤 勝彦)



ボクはムフロン。
だれの祖先かわかる？



ムフロン

ムフロンは家畜のヒツジの祖先とされている動物です。開園当初は5頭で始まり、30年間で100頭もの子どもが誕生し、全国各地の動物園に受け継がれました。山岳地帯にみたとた広大な展示場を再現し、岩山を駆け上がる姿やオス同士の壮絶な角突きなど、野生下でみられる姿を観ることができました。

新しく生まれ変わります！
アフリカ「平原ゾーン」として

モウコノウマ

地球上で生きている唯一の野生のウマであるモウコノウマを開園当初から展示してきました。1987年に日本で初めて繁殖に成功したのは当園で、以後3頭が生まれました。国内では当園を含め、二つの動物園で飼育されているだけです。現在、世界的に野生復帰が進められており、他園とも協力して繁殖に取り組んでいます。



ボクはモウコノウマ
生き残っているのは
動物園のおかげ！



アメリカバイソン

「ヨーロッパバイソン」から「アメ

開園から17年間は、ヨーロッパバイソンを展示し、メス1頭が生まれました。その後、貴重な展示を行っていたこととなります。2002年から現在まで、2009年にオス1頭が生まれました。

さようなら 「家畜の原種ゾーン」

はじめに

このゾーンは、1985年の開園当初から家畜のルーツや、現在でも人々の生活にかかせない家畜を知っていただくため、家畜の祖先や世界の家畜を集めて展示してきました。今回「動物公園リスタート構想」により家畜の原種ゾーンは、「平原ゾーン」として新しく生まれかわることになりました。そこで、家畜の原種ゾーンの歴史などをご紹介します。

アジアスイギュウ



アジアスイギュウ

当初からアジアスイギュウを展示してきました。人間との関わりはたいへん深く、現在でもアジア各地で水田の耕作に使ったり、ミルクから上質なバターやチーズを作ったりしています。当園の展示場は、生息地の水辺を大きな池で再現し、池の中でくつろぐ様子などを観ることができました。

ラマ(ミケ)



「ビクーナ」から「ラマ」へ

開園から8年間は、ビクーナを展示していました。現在、国内の動物園では飼育されていませんので、貴重な展示を行っていたこととなります。1993年からはラマを展示し、メスのミケは21年間でここで過ごし、推定24歳まで長生きしました。

ライオンも
来るよ！

「アメリカバイソン」へ

現在、国内では飼育されていま
までは、アメリカバイソンを展示し、

開園以来、みなさまに愛された「家畜の原種ゾーン」は、アフリカの「平原ゾーン」として新しく生まれかわります。ご期待ください！

(飼育第二班 千葉 茂)

GO! GO! 🍷 ボランティア!!

動物公園の「お・も・て・な・し」

当園でのボランティア活動は動物ガイド、サポート、案内、清掃など多岐にわたっています。ボランティアの自主性が尊重され自分にあった活動に従事しています。

ボランティアが発行している冊子『見どころ7+』は第20号を越えました。各号は園内動物の7種類をわかりやすく解説したものです。飼育係に取材し、編集、作成して来園者に配布しています。

人気イベントは飼育係による「お楽しみDAY」のサポートです。毎回20名の募集ですが、いつも抽選になります。参加者の安全管理に気配りしながら引率しています。

特別支援学級の児童のみなさんへのサポートもボランティアが行い、小動物とのふれあいなどのお手伝いをしています。

手
作
り
の
動
物
カ
ル
タ



新年やこどもの日にはボランティアが作成した「カルタとり大会」が行われます。園内の動物の特徴を読み札にしたもので、3枚取れば「あがり」というルールで小さなお子さんの参加に配慮しています。

私は園内の動物写真をこどもの手のひらサイズのカードにして「お楽しみDAY」、ガイドツアー、クイズラリーなどで配っています。

動物園は、小さなとき親と一緒に、小学生では遠足で、親になって子どもを連れて……3回来るといわれていますが、何度も来たいと思っていただける「おもてなし」を心がけたいと思います。

(千葉市動物公園ボランティア 本田 博教)

Q1 小さいころからこの動物園にきています。色々な生き物や動物とふれ合ったりできてとても楽しいです。もっとみんなが笑顔いっぱい動物園にしてください。

A1 動物公園はこの後リスタート構想に基づいて整備を進めていきます。みんなが笑顔になる動物公園になるように努力していきますので、これからも千葉市動物公園をよろしくお願いいたします。

来園者の声

Q2 飼育係さんがあまりいなく、調べ学習の時間けませんでした。ですので、外に多くの飼育係さんがいるとうれしいです。

A2 せっかく調べ学習で来てくれたのにごめんなさい。飼育係は一日のうち、ほとんど動物のお世話をしています。動物の「お食事タイム」のときには必ず飼育係がいますので、たずねてください。

Q3 動物公園のオランウータンはどんな性格ですか？

A3 オスはおっとりした性格で、メスは気が強くて神経質です。オランウータンを見ると性格が動きに出ているかもしれませんが。また見にいらしてくださいね。

イベントカレンダー

詳細はホームページをご覧ください。

○飼育係によるお楽しみDAY

4月4日(土)ゾウ
5月9日(土)草原ゾーン
6月6日(土)鳥類・水系ゾーン
13:30～14:15
バックヤード見学や、間近での動物たちの観察

○飼育担当者のちょっとした話

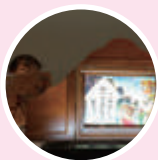
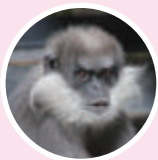
4月12日(日)アメリカビーバー
5月10日(日)カオムラサキラングール
6月14日(日)カメ類
13:10～13:30
飼育担当者だから話せる動物たちの裏話

○園長といっしょ

3月15日(日)小動物ゾーン
4月19日(日)ゾウ・キリン・シマウマ
5月17日(日)フラミンゴ・マレーバク・カンガルー
11:00～11:45
園長といっしょに園内を巡るガイド

○紙芝居会

3月22日(日)、3月28日(土)、4月26日(日)
5月17日(日) 11:30～、13:30～
市民ボランティアによる動物にちなんだ紙芝居会



★開園30周年記念ウィーク★

無料開放DAY その①

4月28日(火)入園料無料

記念特別講演会 その②

4月29日(水・祝) 13:00～
開園30周年を記念した特別講演会を開催

園長のとっておきの話 その③

5月2日(土)、4日(月・祝)、6日(水・祝) 11:00～

ZOOアドバイザーの動物公園の楽しみ方

5月3日(日)、5日(火・祝) 11:00～

動物ガイド その⑤

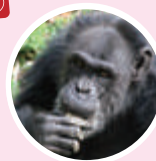
5月2日(土)、3日(日)、4日(月・祝)、
5日(火・祝)、6日(水・祝) 13:00～

クイズラリーGW大作戦 その⑥

5月2日(土)、3日(日)、4日(月・祝)、
6日(水・祝) 9:30～15:00

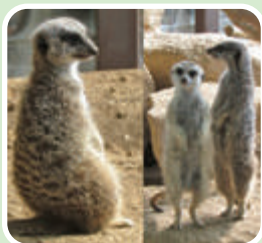
こどもの日クイズ大会 その⑦

5月5日(火・祝) 11:00～、14:00～



森由民の おすすめ 千葉ZOO

第3回「春の陽だまりの中で」



春が訪れた歓びを端的に表わす、熱帯・亜熱帯由来の動物園動物たち。ミーアキャットも、その一例です。かれらは、代わりばんこに立って周囲を見張りますが、晴れた朝などは体を温めるべく、みんなでひなたぼっこということもあります。そんな習性も、これからの季節は益々盛んになるはずです。

当園の3頭は、それぞれが個性的なので、是非、識別にも挑戦してみてください。尻尾の短いイデアは、ミーアキャット界指折りの「美女」(個人の感想です)。食欲旺盛なので、ちょっとばかりおむすび体型ですが、きりっと口を結んでも犬歯が見えるミルミルは、イデアのおかあさん。そして、色白なのは、イデアのパートナーとして来園した、オスのカンタです。今年6月で4歳になり、そろそろ一人前のオスの貫録も出てきたのではないのでしょうか。実は、この写真は3歳少し前のカンタです。いまの様子と見比べてみてくださいね。



こんにちは赤ちゃん

ケープペンギン



(1羽)
2月12日生まれ

ショウガラゴ



(3頭)
2月8日ごろ

オグロマーモセット



(1頭)
12月15日生まれ

コツメカワウソ



2009年8月10日～
2015年1月10日

安らかに・・・

パタスザル



1997年12月5日(来園)～
2015年2月20日

ムフロ



2003年3月19日～
2015年12月11日

元気でね

タンチョウ



(2羽)12月25日
(いしかわ動物園へ)

ようこそ

テンジクネズミ



(6頭)1月8日
(川崎市夢見ヶ崎動物公園より来園)

動物公園サポーターの募集

千葉市動物公園を応援していただける個人、法人サポーターを募集しています。
寄附金は個人1口1,000円、法人1口10,000円で何口でも寄附いただけます。

特典

- 1 当園オリジナルグッズプレゼント
- 2 招待券プレゼント
- 3 サポーターズデーへのご招待
- 4 動物公園に関する情報のご提供

個人サポーターは、1口、3口、5口ごとに特典が異なります。

問い合わせ先 電話 043-252-1111 (代)



アクセス

●開園時間

午前9時30分から午後4時30分まで
(ただし、入園は午後4時まで)

●休園日

毎週月曜日(月曜日が休日にあたる時は翌日)
年末年始(12月29日から1月1日)

●入園料

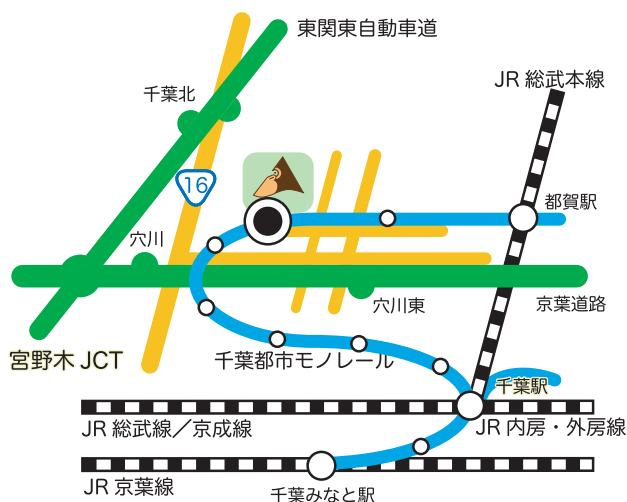
大人500円、小・中学生100円
・小学生未満、千葉市在住65歳以上の方は無料
・団体は有料人数30名以上で2割引
・「ふれあいパスポート」持参の場合
土曜日は無料

●駐車場

普通車500円、大型車2,100円
(閉門時間 午後5時)

●ホームページ

<http://www.city.chiba.jp/zoo/>



お車の場合

- ・東京方面からは 京葉道路穴川I.Cより市街方面に約3km
- ・市原方面からは 京葉道路穴川東I.Cより市街方面に2km
- ・成田方面からは 東関東自動車道千葉北I.Cより千葉方面へ約7km

モノレールの場合

- ・千葉都市モノレール動物公園駅直結
(乗車時間)・千葉駅より約12分
- ・都賀駅より約5分
- ・千葉みなと駅より約16分

お得な年間パスポート 大人 2,500円、小・中学生 500円

ツイッターのお知らせ

飼育係の撮影した写真やリアルタイムな園内の情報などなど

◎千葉市動物公園公式Twitterアカウント

@chibazoo

フォロワー数現在 12,909 (2月末現在)



2015年2月末現在の飼育数

哺乳類	62種	531点
鳥類	66種	264点
爬虫類	6種	29点
両生類	1種	2点
魚類	1種	1点
総計	136種	827点



どうぶつこうえんニュース第93号 平成27年3月15日発行

編集・発行 千葉市動物公園 ちばZOO編集委員会

〒264-0037 千葉市若葉区源町280番地 Tel 043-252-1111(代) Fax 043-255-7116

●動物取扱業名称/千葉市動物公園 園長 石田 駿 ●所在地/千葉市若葉区源町280 ●種別/展示・貸出・保管・販売

●登録番号/展示 第50015号・貸出 第30016号・保管 第20200号・販売 第10205号

●登録年月日/展示・H24.7.30 貸出・保管・販売 H23.11.7 ●有効期間の末日/展示 H29.7.29 貸出・保管・販売 H28.11.6 ●動物取扱責任者/高木淳子